

神奈川 ネット

三浦紀子 市政に提案！

子育て・介護は社会の仕事

私は、「自分たちのことは自分たちで決める」という地方自治の原則を大切にしながら参加型のまちづくりを進めます。暮らしに密着した福祉政策と、大きく社会を変える気候危機を含む環境政策に重点的に取り組み、経済活性につなげます。

プロフィール

1967年東京生まれ／1991年法政大学法学部卒／2010年福祉クラブ生協 家事介護事業所W.Coエプロン・みどり理事／2018年横浜北生活クラブ生活協同組合理事長／2020年公益財団法人生き生き市民基金理事／2021年横浜市消費生活審議会審議委員／2022年生活クラブ神奈川副理事長

三浦紀子ホームページはこちらから→



青木マキ 県政に提案！

前横浜市議員

コロナ禍、加速する少子高齢社会、気候危機と、社会は大転換を迫られています。今こそ、市民社会の実践に学び、多様な価値を生かす政治が求められています。私は、子育て・介護など、命を支える仕事を社会の仕事として、「福祉」を真ん中に据えた循環型経済をすすめます。

プロフィール

1973年川崎市生まれ／1989年横浜市立みたま台中学校卒業／1992年神奈川県立市ケ尾高等学校卒業／1994年東洋大学短期大学英文科卒業／1999年インタースタジオ写助制作部入社／2011年フリーランスグラフィックデザイナー／2015年横浜市議員（青葉区選出）1期／2019年カジノの是非を決める横浜市民の会運営委員／2020年横浜北生活クラブ生協市が尾デポー運営委員長

青木マキホームページはこちらから→



一歩前進！横浜の子育て支援

ネット・青葉は、子育て家庭と地域の保育・子育て支援をつなげる第一歩として、また、多様な働き方に応えるためにも、一時保育を広げることを提案してきました。横浜市では2020年度から、かねてより提案してきた双子・三つ子など多胎児の一時保育利用料の減免制度（事業所には多胎児受け入れ加算を支給）がスタート。多胎児の利用がぐっと増加しました。→データ1

～2023年度 新規事業予定～

- 一時保育、一時預かりの「0歳児加算」
- 一時預かり無料券の配布（2023年4月以降に産まれた児童が対象）

子育ての第一歩「0歳児育児」をサポート

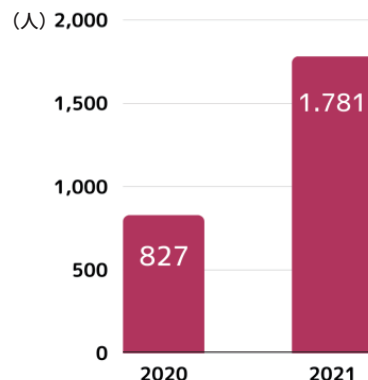
さらに、私たちがいち早くキャッチしたのは一時保育における0歳児のニーズです。0歳児の受け入れを進めるには、手厚い保育士配置が必要で、そのための「加算」制度の導入を求めてきました。2023年度からは、いよいよ0歳児の一時預かりを広げるための新規事業がスタートします。昨年から始まった一時保育（預かり）WEB予約システムも、より使いやすいシステムへと見直しが必要です。待機児童対策の「その先」を見据えて、現場の声を生かしてより制度づくりに取り組みます。→データ2



神奈川ネットは、子育て・介護、就労支援や環境活動に関わるNPOやワーカーズ・コレクティブの皆さんと、横浜市との意見交換や政策提案を行っています。

データ1

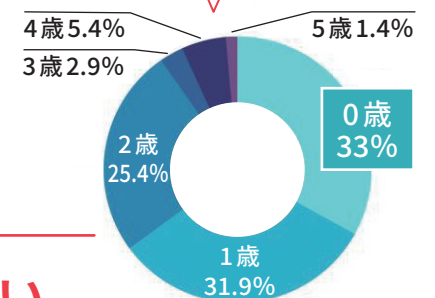
横浜市・認可保育所の一時保育における多胎児加算の利用状況



データ2

青葉区・認可保育所一時保育年齢別受入割合（2021年度）

青葉区の認可保育所一時保育0歳児利用割合は33%と、全市の0歳児利用割合13%を大きく上回っています。（公立認可保育所を除くデータ）



子育てを孤立させない

～多様な保育・子育て支援をひろげる～

- 核家族の多い青葉区。一時保育や親子の集いの広場、派遣型の産前産後ケア、相談事業などで家族を丸ごと応援します。
- 一時預かり（保育）WEB予約システムを使いやすいシステムに改善します。
- 小規模保育と認可保育所、幼稚園の連携で待機児童対策も推進します。

共に育ち、学ぶ

- 障害があっても医療的ケアが必要でも、地域で共に学べるインクルーシブ教育や、多様な学びの場づくりを進めます。
- 学校が、子どもや家庭の「困った」の窓口になれるようスクールソーシャルワーカーの配置を進めます。